

研究課題番号	3RF-2001
研究課題名	高防汚性と易原料化とを兼備する双性イオン型 PET の開発
研究実施期間	令和 2 年度～令和 4 年度
研究機関名	関西大学
研究代表者名	河村 暁文

1. 委員の指摘及び提言概要

プラスチックの資源循環に向けた法整備が閣議決定された今、意義ある研究である。基礎研究としてチャレンジングで、研究を系統的に進めており、新素材開発としての双性イオン型 PET 開発としての意義はあり、モノマー選定からポリエステル合成までの成果が上がっている。冷却で回収できることを見出したことが興味深い。論文化、および実用化にむけての検討を期待する。一方で、研究成果の政策への活用については疑問が残る。今後の素材展開と用途のロードマップを明示してほしい。PET リサイクルの現行の技術改善の代替案と比較して、やや見通しが弱く、R&D の基本方針を確立することが必要である。再生化プロセスについては、従来法との比較を行ってほしい。

2. 採点結果

評価ランク：A